





附属資料

■ 成果の達成度を測る指標と出典・計算式等の一覧

基本目標 I-1 生きがい創造

目標が達成された姿	目指す成果	成果の達成度を測る指標	現状値	目指そう値(H26)	出典・計算式等	掲載ページ
I-1-(1) 生涯にわたって能力を伸ばすことができる	I-1-(1)-① 生涯学習に取り組む市民が増えている	A 自主的な学習に取り組んだり、趣味の会やサークル活動に参加している市民の割合	30.8% (H22)	34.0%	市民意識調査で測定	P- 19
		B この1年間に自分の知識や技術を何らかの形で地域に活かしたことがある市民の割合	16.0% (H22)	18.0%	市民意識調査で測定	
		C 市民1人当たりの公民館・青少年会館等年間利用回数	2.8回 (H21)	2.9回	公民館・青少年会館等年間利用者数/人口	
		D 市民1人当たりの年間図書貸出冊数	5.4冊 (H21)	7.2冊	資料等年間貸出冊数/人口	
	I-1-(1)-② スポーツを楽しむ市民が増えている	A スポーツ(運動)を定期的(週1回以上)にしている市民の割合	30.3% (H22)	34.0%	市民意識調査で測定	P- 21
		B 市民1人当たりのスポーツ施設年間利用回数	5.7回 (H21)	6.3回	スポーツ施設年間利用者数/人口	
	I-1-(1)-③ 多くの市民が豊かで創造性のある芸術・文化に親しんでいる	A この1年間に芸術・文化活動(コンサートや演劇などの鑑賞を含む。)を行ったことがある市民の割合	40.7% (H22)	50.0%	市民意識調査で測定	P- 23
		B 市民1人当たりの文化施設年間利用回数(会議系諸室を除く。)	2.9回 (H21)	3.1回	会議系諸室を除く文化施設年間利用者数/人口	
I-1-(2) 誰もが活躍する場が増えている	I-1-(2)-① 市内で働く人がいきいきと働いている	A 日々の仕事に生きがいを感じている市民の割合	40.8% (H22)	50.0%	市民意識調査で測定	P- 25
		B 岸和田市勤労者互助会の会員数	277事業所 1,967人 (H21)	400事業所 2,800人	年度末の会員数	
	I-1-(2)-② 障害者がいきいきと暮らしている	A 長期的な病気や障害を抱えている人のうち、生きがいを感じることがある市民の割合	43.2% (H22)	50.0%	市民意識調査で測定	P- 27
		B 就労継続支援及び就労移行支援サービスの1か月当たりの利用日数	1,711日 (H21)	5,725日	年間延べ利用者数/12か月	
	I-1-(2)-③ 高齢者がいきいきと暮らしている	A 生きがいを感じることがある老年期(65歳以上)の市民の割合	55.6% (H22)	60.0%	市民意識調査で測定	P- 29
		B シルバー人材センター登録者数	1,548人 (H22)	1,710人	4月1日のシルバー人材センターの登録者数	
		C 老人クラブ会員数	22,111 (H22)	24,426人	4月1日の老人クラブの会員数	
I-1-(3) 郷土への愛着心が育まれている	I-1-(3)-① 郷土の文化がしっかりと引き継がれている	A 岸和田の歴史や伝統がしっかりと引き継がれていると感じている市民の割合	59.3% (H22)	65.0%	市民意識調査で測定	P- 31
		B 市指定文化財の数	44件 (H21)	46件	年度末の市指定文化財の数	

基本目標 I-2 次世代を育てる

目標が達成された姿	目指す成果	成果の達成度を測る指標	現状値	目指そう値(H26)	出典・計算式等	掲載ページ
I-2-(1) 安心して子どもを産み育てている	I-2-(1)-① 子どもを生み育てやすい環境が整っている	A 地域に子育てに関する不安を相談できる機会や場があると感じている市民の割合	18.9% (H22)	25.0%	市民意識調査で測定	P- 35
		B 妊婦1人当たりの妊婦健康診査受診回数	11.3回 (H21)	14.0回	延べ受診者数/対象者数	
		C 4か月児健康診査(集団分)の受診率	97.4% (H21)	100.0%	受診者数/対象者数×100	
		D 地域子育て支援センターの利用者数	6,871人 (H21)	10,000人	地域子育て支援センターの利用者数(4月～3月)	
	I-2-(1)-② 仕事と子育てが両立できている	A 働きながら子育てができる環境が整っていると感じている市民の割合	10.4% (H22)	20.0%	市民意識調査で測定	P- 37
		B 保育所の入所待機児童数	17人 (H22)	0人	厚生労働省の待機児童の算出基準に基づいて算出した4月1日の待機児童数	
		C ファミリー・サポート・センターの活動件数	2,009件 (H21)	2,110件	ファミリー・サポート・センターの活動件数(4月～3月)	
		D チビッコホーム(学童保育)の入所待機児童数	159人 (H22)	0人	4月1日のチビッコホーム入所希望者数-入所者数	

目標が達成された姿	目指す成果	成果の達成度を測る指標	現状値	目指そう値(H26)	出典・計算式等	掲載ページ
I-2-(2) 子どもの健康と安全が保たれている	I-2-(2)-① 子どもの心身の健康が保たれている	A 子どもが心身ともに健全に育つ環境が整っていると感じている市民の割合	18.8% (H22)	25.0%	市民意識調査で測定	P- 39
		B 毎日朝食を食べている児童・生徒の割合	小6 84.5% 中3 77.4% (H22)	小6 90.0% 中3 85.0%	全国学力・学習状況調査	
		C 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果における体力合計点の全国平均点との差	小5男 ▲ 1.2p 小5女 ▲ 2.3p 中2男 ▲ 3.0p 中2女 ▲ 5.4p (H21)	小5男 0.0p 小5女 0.0p 中2男 0.0p 中2女 0.0p	全国体力・運動能力、運動習慣等調査	
		D 予防接種（三種混合）の接種率	100.0% (H21)	100.0%	接種者数／対象者数×100	
	I-2-(2)-② 子どもの人権と安全な生活環境が保たれている	A 子どもが地域で安全に遊べると感じている市民の割合	20.3% (H22)	22.0%	市民意識調査で測定	P- 41
		B 「子ども 110 番の家」の協力家庭等の軒数	4,986 軒 (H21)	5,200 軒	年度末の協力家庭等の軒数	
		C いなか幼稚園・パピースクールへの受入れ待機児童数	4 人 (H22)	0 人	4月1日の入所希望者数－入所者数	
		D 児童虐待（疑い含む。）相談のうち児童の状況が安定し終結した割合	31.4% (H21)	50.0%	終結した件数／児童虐待として対応した件数×100	
I-2-(3) 子どもの個性や能力が育まれている	I-2-(3)-① 等しく教育を受ける機会が保障されている	A 小・中学校の通学区がおおむね適正であると感じている市民の割合	44.3% (H22)	50.0%	市民意識調査で測定	P- 43
		B 経済的な理由により長期欠席している児童・生徒の割合	0.0% (H21)	0.0%	大阪の学校統計（学校基本調査報告書）	
	I-2-(3)-② 子どもが個性や能力にあった教育を受けている	A 子どもが個性や能力にあった教育が行われていると感じている市民の割合	12.9% (H22)	20.0%	市民意識調査で測定	P- 45
		B 支援学級等支援者（介助員＋特別支援教育支援員）の数	16 人 (H22)	24 人	4月1日の特別支援学級等支援教諭の数	
		C 全国学力・学習状況調査結果における全国平均正答率との差	国語A小6 0.3p 国語A中3 ▲6.4p 算数A小6 1.4p 数学A中3 ▲7.5p (H22)	国語A小6 0.3p 国語A中3 0.0p 算数A小6 1.4p 数学A中3 0.0p	全国学力・学習状況調査	
	I-2-(3)-③ 安全で快適な教室で児童・生徒が学習活動に取り組んでいる	A 安全で快適な学校環境であると感じている市民の割合	19.5% (H22)	40.0%	市民意識調査で測定	P- 47
		B 学校施設の耐震化率	44.1% (H21)	73.4%	耐震化済棟数／全体棟数×100	
I-2-(4) 岸和田の担い手が育っている	I-2-(4)-① 子どもが感受性や社会性を身につけている	A 子ども一人ひとりに感受性や社会性が身につけていると感じている市民の割合	9.0% (H22)	10.0%	市民意識調査で測定	P- 49
		B 近所の人にあいさつをする児童・生徒の割合	小6 59.7% 中3 54.7% (H22)	小6 65.0% 中3 60.0%	全国学力・学習状況調査	
	I-2-(4)-② 子どもたちが夢や目標をもって育っている	A 青少年の健全育成を図るための環境が整っていると感じている市民の割合	11.5% (H22)	13.5%	市民意識調査で測定	P- 51
		B 学校で友だちに会うのが楽しい児童・生徒の割合	小6 89.2% 中3 77.8% (H22)	小6 90.0% 中3 85.0%	全国学力・学習状況調査	
		C 不登校の児童・生徒の割合	小学校 0.5% 中学校 3.1% (H21)	小学校 0.3% 中学校 2.6%	大阪の学校統計（学校基本調査報告書） 不登校の児童・生徒数／児童・生徒数×100	
		D 少年犯罪（刑法犯）検挙人数	150 人 (H21)	140 人	大阪府岸和田警察署（1月～12月）	
	I-2-(4)-③ あらゆる分野での人材が育っている	A 産業や福祉、教育などの様々な分野でリーダーとなるべき人材が育っていると感じている市民の割合	8.1% (H22)	12.0%	市民意識調査で測定	P- 53
		B 大阪版認定農業者数（みなし認定を含む。：累計）	213 人 (H21)	240 人	年度末のみなし認定を含む大阪版認定農業者数	

基本目標 I-3 暮らしの安全性・快適性を高める

目標が達成された姿	目指す成果	成果の達成度を測る指標	現状値	目指そう値(H26)	出典・計算式等	掲載ページ
I-3-(1) 健康的で快適な暮らしができている	I-3-(1)-① 生活を脅かす環境要因が改善されている	A 騒音や大気汚染などの公害に悩まされている市民の割合	21.2% (H22)	20.0%	市民意識調査で測定	P- 57
		B 公害苦情件数	139 件 (H21)	139 件	環境保全課に寄せられた公害苦情件数(4月～3月)	
		C 大気に係る環境基準項目達成割合	100.0% (H21)	100.0%	環境基準達成項目数/当該年度測定環境基準項目数×100	
	I-3-(1)-② 衛生的で美しい生活環境が維持されている	A 地域にごみのポイ捨てなどがなく、きれいなまちであると感じている市民の割合	8.8% (H22)	18.0%	市民意識調査で測定	P- 59
		B 不法投棄に関する環境保全課への苦情件数	186 件 (H21)	160 件	環境保全課に寄せられた不法投棄に関する苦情件数(4月～3月)	
		C 美化運動の申込み件数	501 件 (H21)	1,500 件	美化運動の申込み件数(4月～3月)	
	I-3-(1)-③ 安全でおいしい水が安定的に供給されている	A 安全な水が安定して供給されていると感じている市民の割合	78.7% (H22)	85.0%	市民意識調査で測定	P- 61
		B 有収率	92.14% (H21)	92.25%	有収水量/総配水量×100	
	I-3-(1)-④ 良好な住環境が維持・改善されている	A 秩序があり、美しい街並みが形成されていると感じている市民の割合	13.3% (H22)	17.0%	市民意識調査で測定	P- 63
		B 建築確認申請の完了検査受検率	93.0% (H21)	100.0%	完了検査実施件数/建築確認申請件数×100	
		C 地区計画等・建築協定・緑地協定の締結件数(累計)	12 件 (H21)	15 件	地区計画・建築協定・緑地協定の年度末の累計件数の合計	
I-3-(2) 安全な食が生産され、身近に購入できている	I-3-(2)-① 安全な食が生産されている	A 農業や漁業に魅力があると感じている市民の割合	26.4% (H22)	35.0%	市民意識調査で測定	P- 65
		B エコ農産物(エコ米)の収量	19 t (H21)	25 t	市農林水産課出荷実績調べ(4月～3月)	
		C 漁業生産量	15,552 t (H20)	15,991 t	近畿農政局「大阪農林水産統計年報」	
	I-3-(2)-② 地産物が地域で消費されている	A 地元産の食品を優先的に買う市民の割合	56.5% (H22)	66.0%	市民意識調査で測定	P- 67
		B 農産物・海産物の直販所などでの即売売上金額	220 万円 (H21)	87,300 万円	農業まつり即売会と平成23年度に新たに開設される農産物直販所での売上金額の合計	
I-3-(3) 不安なく日常生活を送っている	I-3-(3)-① 安心して消費生活を送ることができている	A この1年間に何らかの消費者トラブルにあったことがある市民の割合	5.9% (H22)	4.0%	市民意識調査で測定	P- 69
		B 消費者相談のうち、解決済の割合	96.8% (H21)	99.0%	{相談件数-〔あつせん不調件数+処理不能件数+処理不要件数〕}/相談件数×100	
	I-3-(3)-② 交通事故の不安を感じることなく外出している	A 安心して歩道を通行することができると感じている市民の割合	17.9% (H22)	20.0%	市民意識調査で測定	P- 71
		B 交通事故(人身事故+物損事故)の年間発生件数	5,033 件 (H21)	4,900 件	大阪府岸和田警察署(1月～12月)	
	I-3-(3)-③ 犯罪の不安を感じることなく暮らしている	A 地域の治安がだんだん悪化していると感じている市民の割合	46.7% (H22)	45.0%	市民意識調査で測定	P- 73
		B 刑法犯罪の認知件数	4,000 件 (H21)	3,900 件	大阪府岸和田警察署(1月～12月)	

基本目標 I-4 人も街も災害に強くする

目標が達成された姿	目指す成果	成果の達成度を測る指標	現状値	目指そう値(H26)	出典・計算式等	掲載ページ
I-4-(1) 災害に対する備えと予防ができている	I-4-(1)-① 災害に対して強いまちになっている	A 無料耐震診断及び既存建築物耐震診断補助制度による耐震診断実施戸数(累計)	113 戸 (H21)	310 戸	年度末での累計件数	P- 77
		B 市有特定建築物等(学校教育施設を除く。)の耐震化率	53.0% (H22)	74.7%	耐震化済棟数/学校教育施設を除く市有建築物棟数×100	
		C 準用河川の改修率	88.4% (H21)	90.9%	改修済延長/準用河川延長×100	

目標が達成された姿	目指す成果	成果の達成度を測る指標	現状値	目指そう値(H26)	出典・計算式等	掲載ページ
	I-4-(1)-② 火事か減っている	A 消防機能力充実していると感じている市民の割合	37.1% (H22)	50.0%	市民意識調査で測定	P- 79
		B 人口1万人当たりの火災発生件数	3.2件 (H21)	3.2件	年間火災発生件数／人口×10,000	
		C 住宅用火災警報器の普及率	34.0% (H21)	90.0%	年度内2度調査による	
I-4-(2) 災害が起こったとき、迅速・的確な対応ができています	I-4-(2)-① 災害に対する危機管理体制が整っている	A 災害の際の緊急避難場所がどこか知っている市民の割合	73.6% (H22)	85.0%	市民意識調査で測定	P- 81
		B 災害の際の非常持出し品や食糧などを準備している市民の割合	21.3% (H22)	50.0%	市民意識調査で測定	
		C 自主防災会の数	31組織 (H21)	40組織	年度末の累計件数	

基本目標 I-5 健康を育み、地域医療を充実させる

目標が達成された姿	目指す成果	成果の達成度を測る指標	現状値	目指そう値(H26)	出典・計算式等	掲載ページ
I-5-(1) 一人ひとりの健康が維持・増進されている	I-5-(1)-① 市民一人ひとりが健康づくりに取り組んでいる	A 定期的に健康診断や検診を受けている市民の割合	66.5% (H22)	73.0%	市民意識調査で測定	P- 85
		B 40～64歳人口に占める健康増進法に基づく健康教室の参加者数の割合	15.4% (H21)	20.0%	参加者数／40～64歳人口×100	
	I-5-(1)-② 心身の健康を維持するための体制が整っている	A 日常生活の中でストレスを感じることがある市民の割合	81.0% (H22)	75.0%	市民意識調査で測定	P- 87
		B 第1号被保険者に占める中重度介護認定者数の割合	10.4% (H21)	10.5%	要介護2～5認定者数／第1号被保険者数×100	
		C 人口10万人当たりの自殺者数	25.1人 (H21)	22.6人	自殺死亡者数／人口×100,000	
I-5-(2) 誰もが、いつでも、安心して医療が受けられる	I-5-(2)-① 必要な医療が安心して受けられる	A 救急医療体制が充実していると感じている市民の割合	36.4% (H22)	40.0%	市民意識調査で測定	P- 89
		B 救急講習終了証年間交付者数	520人 (H21)	800人	救急講習を受講して終了証を交付した人数(4月～3月)	
		C 安心して医療が受けられると感じている市民の割合	43.7% (H22)	50.0%	市民意識調査で測定	
		D かかりつけ医をもっている市民の割合	57.4% (H22)	65.0%	市民意識調査で測定	
	I-5-(2)-② 市民病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている	A 市民病院における紹介率	40.1% (H21)	55.0%	(紹介患者延数+即日入院患者延数)／(初診患者延数-休日・夜間初診患者延数-休日・夜間初診患者のうち即日入院となった患者延数)×100	P- 91
		B 市民病院における経常収支比率	99.8% (H21)	103.9%	(医業収益+医業外収益)／(医業費用+医業外費用)×100	

基本目標 I-6 海から山までをつなげ、新しい価値と活力を創出する

目標が達成された姿	目指す成果	成果の達成度を測る指標	現状値	目指そう値(H26)	出典・計算式等	掲載ページ
I-6-(1) 多彩な地域特性を活かした景観や拠点が形成されている	I-6-(1)-① 拠点の整備が計画的に進んでいる	A 鉄道駅周辺の市街地に活力があると感じている市民の割合	14.6% (H22)	18.0%	市民意識調査で測定	P- 95
		B 市内鉄道駅(7駅)の1日平均乗車人員	45,435人 (H20)	45,500人	南海電鉄・JR西日本大阪支社(4月～3月)	
		C 丘陵地区整備事業の進捗率	0.0% (H21)	12.4%	整備済面積／整備予定面積×100	
	I-6-(1)-② 良好な景観が形成されている	A 景観がよく保全されていると感じている市民の割合	15.6% (H22)	23.0%	市民意識調査で測定	P- 97

目標が達成された姿	目指す成果	成果の達成度を測る指標		現状値	目指そう値(H26)	出典・計算式等	掲載ページ
I-6-(2) 人や物が盛んに市内を行き交っている	I-6-(2)-① 市内の移動がスムーズにできている	A	車や公共交通機関を使って市内をスムーズに移動できている市民の割合	31.9% (H22)	50.0%	市民意識調査で測定	P-99
		B	都市計画道路の整備率	53.0% (H21)	57.5%	整備済延長/都市計画道路延長×100	
		C	市内で運行されているバスの1日平均乗車人数	4,474人/日 (H21)	4,500人/日	(南海/バス年間乗車人数+ローズ/バス年間乗車人数)/365日	
		D	踏切による交通遮断時間	市道並松上松線 8.9時間/日 府道岸和田港塔原線 8.6時間/日 (H16)	市道並松上松線 5.2時間/日 府道岸和田港塔原線 5.0時間/日		
I-6-(3) 1年中を通じて多くの人が岸和田を訪れ、市民と交流している	I-6-(3)-① 地域の中で多文化共生が行われている	A	国際化が進んでいると感じている市民の割合	24.9% (H22)	30.0%	市民意識調査で測定	P-101
		B	市内の主な国際交流団体の会員数	656人 (H21)	680人	年度末の各団体の会員数の合計	
	I-6-(3)-② 市民が観光資源に親しみ、多くの観光客でにぎわっている	A	岸和田が多くの観光客でにぎわい、観光の振興が十分な状態であると感じている市民の割合	14.0% (H22)	34.0%	市民意識調査で測定	P-103
		B	1年間の主要観光施設及びイベント等への観光入込客数	233万人 (H21)	250万人	主要観光施設入場者数とイベント等への来場者数の合計(4月～3月)	
I-6-(4) 経済活動が活発に行われている	I-6-(4)-① 多様な資源を活かしあい、新たな取組をする事業者が増えている	A	商工業に活気があると感じている市民の割合	5.6% (H22)	7.5%	市民意識調査で測定	P-105
		B	年間商品販売額	3,286億円 (H19)	3,380億円	経済産業省「商業統計調査」	
		C	市内の従業員4人以上の製造業事業所の製造品出荷額等	2,866億円 (H20)	3,040億円	経済産業省「工業統計調査」	
		D	法人設立数	211件 (H21)	240件	市民税課への法人設立届出の件数	
	I-6-(4)-② 市内に働く場所が増えている	A	働く機会が保障されていると感じている市民の割合	6.3% (H22)	7.3%	市民意識調査で測定	P-107
		B	有効求人倍率(岸和田公共職業安定所管内)	0.38倍 (H21)	0.65倍	有効求人数/有効求職者数(岸和田公共職業安定所管内)	
		C	市内事業所数	7,871事業所 (H18)	7,900事業所	総務省統計局「事業所・企業統計調査」	
		D	市内事業所就業者数	68,606人 (H18)	69,000人	総務省統計局「事業所・企業統計調査」	
	I-6-(4)-③ 身近に利用できる商業施設があり、にぎわっている	A	地元の商店や商店街で頻繁に買物をする市民の割合	48.7% (H22)	50.0%	市民意識調査で測定	P-109
		B	小売業年間販売額	1,621億円 (H19)	1,670億円	経済産業省「商業統計調査」	
		C	小売業の商店数	1,748店 (H19)	1,800店	経済産業省「商業統計調査」	

基本目標 I-7 豊かな自然を未来につなぐ

目標が達成された姿	目指す成果	成果の達成度を測る指標		現状値	目指そう値(H26)	出典・計算式等	掲載ページ
I-7-(1) 海から山をつなぐ、水と緑のネットワークが機能している	I-7-(1)-① みどりが保全され、まちの緑化が進んでいる	A	岸和田市は、みどりが豊かであると感じている市民の割合	43.7% (H22)	50.0%	市民意識調査で測定	P-113
		B	施設緑地面積	310.22ha (H10)	335.22ha	年度末の施設緑地の合計面積	
	I-7-(1)-② 公共用水域の水質が向上している	A	海や川の水がきれいと感じている市民の割合	9.3% (H22)	10.0%	市民意識調査で測定	P-115
		B	市内主要河川(牛滝川水系、春木川水系、津田川水系)の生物化学的酸素要求量(BOD)環境基準達成割合	85.7% (H21)	100.0%	BOD環境基準達成地点数/BOD測定地点数×100	
		C	生活排水適正処理割合	85.7% (H21)	89.9%	(公共下水道処理人口+特定環境保全公共下水道処理人口+農業集落排水処理人口+合併浄化槽人口)/区域内人口×100	
		D	経費回収率	76.0% (H21)	100.0%	使用料収入/汚水処理費×100	

目標が達成された姿	目指す成果	成果の達成度を測る指標		現状値	目指そう値(H26)	出典・計算式等	掲載ページ
	I-7-(1)-③ 自然環境が保全されている	A	多様な動植物が生息していると感じている市民の割合	16.1% (H22)	20.0%	市民意識調査で測定	P-117
		B	自然資料館の入館者数	21,362 人 (H21)	22,500 人	自然資料館の入館者数(4月～3月)	
I-7-(2) 心安らぐ場所が身近にある	I-7-(2)-① 公園を快適に利用している	A	心安らぐ公園や親水空間などが身近にあると感じている市民の割合	34.1% (H22)	50.0%	市民意識調査で測定	P-119
		B	市民1人当たりの都市公園(蜻蛉池公園を除く。)面積	5.5㎡/人 (H21)	5.8㎡/人	都市公園等面積/人口	
		C	公園美化ボランティア登録数	73 人 5 団体 (H21)	150 人 10 団体	年度末の公園美化ボランティア登録数	
I-7-(3) 地球環境への負荷が減っている	I-7-(3)-① ごみの減量化・資源化が進んでいる	A	ごみの減量化やリサイクルに取り組んでいる市民の割合	79.0% (H22)	85.0%	市民意識調査で測定	P-121
		B	市民1人1日当たりの一般家庭普通ごみ排出量	474.6g (H21)	427.1g	一般家庭普通ごみ年間排出量/365日/人口	
		C	事業系ごみの年間排出量	28,363 t (H21)	24,109 t	事業系ごみの年間総排出量(4月～3月)	
		D	リサイクル率	15.4% (H21)	20.0%	資源化されたごみの量/ごみの総排出量×100	
	I-7-(3)-② 地球環境に配慮して行動している	A	省エネルギーに取り組んでいる市民の割合	68.4% (H22)	75.0%	市民意識調査で測定	P-123
		B	市民1人当たりの年間二酸化炭素排出量	4.7 t-CO ₂ (H20)	3.9 t-CO ₂ (H32)	市内年間二酸化炭素排出量/人口	

基本目標 I-8 みんながみんなを大事にし、見守る

目標が達成された姿	目指す成果	成果の達成度を測る指標		現状値	目指そう値(H26)	出典・計算式等	掲載ページ
I-8-(1) 平和の尊さが実感できている	I-8-(1)-① 非核平和への市民の意識が高まっている	A	平和が大切であると感じている市民の割合	96.4% (H22)	97.0%	市民意識調査で測定	P-127
		B	平和意識啓発事業への参加者数	1,828 人 (H21)	2,000 人	平和意識啓発事業への参加者数(4月～3月)	
I-8-(2) 互いの人権を尊重しあっている	I-8-(2)-① あらゆる差別がなく、すべての人が互いの人権を尊重しあっている	A	人種差別、部落差別などの人権にかかわる差別が地域にあると感じている市民の割合	8.8% (H22)	4.0%	市民意識調査で測定	P-129
		B	人権意識啓発事業への参加者数	1,662 人 (H21)	1,950 人	人権意識啓発事業への参加者数(4月～3月)	
	I-8-(2)-② 男女共同参画が実感できている	A	男女がそれぞれの能力を十分に発揮しあい、あらゆる場面で協力しあっていると感じている市民の割合	24.8% (H22)	30.0%	市民意識調査で測定	P-131
		B	審議会・委員会等における女性委員の割合	30.2% (H22)	33.0%	女性委員の数/審議会・委員会等の委員数×100	
		C	女性問題意識啓発事業への参加者数	4,332 人 (H21)	5,000 人	女性問題意識啓発事業への参加者数(4月～3月)	
I-8-(3) ともに支えあう地域社会になっている	I-8-(3)-① お互いに助けあう地域関係ができていく	A	ともに支えあう関係が地域にあると感じている市民の割合	25.1% (H22)	34.0%	市民意識調査で測定	P-133
	I-8-(3)-② 相互扶助の精神に基づき、医療保険制度が適正に運営されている	A	医療保険制度が適正に運営され、安心して暮らすことができると感じている市民の割合	35.5% (H22)	40.0%	市民意識調査で測定	P-135
		B	国民健康保険料の収納率(現年分)	89.0% (H21)	92.0%	保険料収納額/保険料調定額×100	
I-8-(4) 高齢者・障害者が、安心して活動している	I-8-(4)-① ユニバーサルデザイン化が進んでいる	A	ユニバーサルデザイン化が進んでいると感じている市民の割合	4.6% (H22)	5.5%	市民意識調査で測定	P-137
		B	駅と主要施設を結ぶ道路のバリアフリー化率(3エリアの特定経路整備率)	35.6% (H21)	44.0%	整備済延長/特定経路延長×100	

目標が達成された姿	目指す成果	成果の達成度を測る指標	現状値	目指そう値(H26)	出典・計算式等	掲載ページ
I-8-(5) 誰もが必要な支援を受けることができる	I-8-(5)-① 必要な介護サービスの支援を受けられる	A 介護が必要になったとき、適切な介護サービスを受けることができている市民の割合	21.4% (H22)	25.0%	市民意識調査で測定	P-139
		B 居宅介護サービス・介護予防サービスの1か月当たりの受給者数	5,520人/月 (H22)	6,209人/月	毎年4月中の受給者数	
	I-8-(5)-② 高齢者が必要な支援を受け、安心して日常生活を送っている	A 高齢者が安心して生活できていると感じている市民の割合	14.1% (H22)	25.0%	市民意識調査で測定	P-141
		B 地域包括支援センターの相談者数	1,588人 (H21)	2,000人	地域包括支援センターでの相談取扱い件数(4月～3月)	
	I-8-(5)-③ 障害者が必要な支援を受け、自立した生活を送っている	A 障害者が自立した生活ができていると感じている市民の割合	7.1% (H22)	10.0%	市民意識調査で測定	P-143
		B 長期的な病気や障害を抱えている人のうち、日常生活に支障がある市民の割合	49.4% (H22)	47.0%	市民意識調査で測定	
		C 施設入所支援サービスの利用者数	154人 (H21)	146人	年度末の施設入所支援サービスの利用者数	
		D 訪問系福祉サービスの利用量(月平均利用時間)	4,947時間/月 (H21)	7,933時間/月	年間延べ利用時間/12か月	
	I-8-(5)-④ 生活困窮者などが必要な支援を受けている	A 生活に困窮する人たちが適正な支援を受けていると感じている市民の割合	10.4% (H22)	16.0%	市民意識調査で測定	P-145

基本目標 II-1 市民と議会、行政がそれぞれの役割を果たす

目標が達成された姿	目指す成果	成果の達成度を測る指標	現状値	目指そう値(H26)	出典・計算式等	掲載ページ
II-1-(1) 意欲をもって地域活動にかかわっている市民が増えている	II-1-(1)-① 地域の活動が活発に行われている	A この1年間にボランティア活動や地域の自治活動に参加したことがある市民の割合	28.5% (H22)	33.0%	市民意識調査で測定	P-151
		B 多くの市民や事業者が公共的な活動を行っていると感じている市民の割合	12.8% (H22)	15.0%	市民意識調査で測定	P-153
	II-1-(1)-② 公共を担う市民や事業者が増えている	B ボランティアセンターのボランティア登録人数	801人 (H21)	850人	年度末のボランティア登録者数	
		C 市内のNPO法人数(市内にのみ事務所を有する法人)	44団体 (H21)	58団体	年度末の市内NPO法人数	
II-1-(2) 三者が、互いの立場を理解しながら問題解決に取り組んでいる	II-1-(2)-① お互いが、ともに学び育ちあう関係が築かれている	A 広く市政に参加できる機会や情報提供が保障されていると感じている市民の割合	17.8% (H22)	20.0%	市民意識調査で測定	P-155
		B 市民意識調査の回答率	33.1% (H22)	50.0%	市民意識調査で測定	
	II-1-(2)-② お互いの情報交換が活発に行われている	A 市民の声が市政に反映されていると感じている市民の割合	6.9% (H22)	10.0%	市民意識調査で測定	P-157
		B 市ホームページへのアクセス件数	96.3万件 (H21)	100.0万件	市のホームページへのアクセス件数(4月～3月)	
		C 情報公開制度に基づく不服申立件数	2件 (H21)	0件	情報公開制度に基づき不服申立がなされた件数(4月～3月)	

基本目標 II-2 適正で、分かりやすい行財政運営をする

目標が達成された姿	目指す成果	成果の達成度を測る指標	現状値	目指そう値(H26)	出典・計算式等	掲載ページ
II-2-(1) 行政の責務が果たされていることを市民が実感できている	II-2-(1)-① 新たな行政課題や業務改善に取り組む職員が増えている	A 全体として市役所の仕事に満足している市民の割合	18.6% (H22)	20.0%	市民意識調査で測定	P-161
		B 人事考課制度の目標難易度が「S(躍進)」となった事務事業の割合	10.0% (H21)	10.0%	目標難易度が「S(躍進)」の事務事業の数/人事考課に記載された事務事業の数×100	
	II-2-(1)-② 明確な目標設定と評価により行政運営が行われている	A 事務事業評価で改善提案をした事務事業のうち、実際に改善に向けて何らかの取組を行った事務事業の割合	31.1% (H17)	100.0%	改善に向けて何らかの取組を行った事務事業数/事務事業評価で改善提案をした事務事業数×100	P-163

目標が達成された姿	目指す成果	成果の達成度を測る指標		現状値	目指そう値 (H26)	出典・計算式等	掲載 ページ
Ⅱ-2-(2) 持続可能な財政運営が行われている	Ⅱ-2-(2)-① 計画的に財政運営が行われている	A	地方債現在高	835.3 億円 (H21)	715.2 億円	年度末の地方債現在高	P-165
		B	実質赤字比率	— (H21)	—	一般会計等の実質赤字額／標準財政規模×100 比率≤0（黒字）の場合、「—」を表示	
		C	将来負担比率	167.4% (H21)	96.7%	{将来負担額－(充当可能基金＋充当可能特定歳入＋基準財政需要額算入見込額)}／(標準財政規模－元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額)×100	
	Ⅱ-2-(2)-② 自主財源が安定的に確保されている	A	経常一般財源比率	101.2% (H21)	101.7%	経常一般財源収入額／標準財政規模×100	P-167
		B	市税収納率（現年課税分）	98.15% (H21)	98.25%	市税収納額／市税調定額×100	
Ⅱ-2-(3) 事務を効果的・効率的に行うための体制が整っている	Ⅱ-2-(3)-① 効率的かつ円滑に業務が実施されている	A	電算化されている業務数	49 件 (H22)	51 件	基幹システムでの管理業務及びデータ連携業務の数	P-169
		B	定期監査等の実施件数	95 件 (H22)	95 件	年度当初の定期監査等実施予定件数	
	Ⅱ-2-(3)-② 資産が適正に管理・運用され、有効に活用されている	A	普通財産に占める未利用地の割合	1.3% (H21)	1.0%	未利用地面積／普通財産面積×100	P-171
		B	指定管理者制度を導入した施設数	289 施設 (H22)	300 施設	4 月 1 日の指定管理者制度を導入した施設数	
Ⅱ-2-(4) 市民にとって利用しやすい市役所になっている	Ⅱ-2-(4)-① 必要な行政サービスをいつでも手軽に受けられる	A	市役所への手続きの申請や相談の窓口が利用しやすいと感じている市民の割合	33.6% (H22)	50.0%	市民意識調査で測定	P-173

■ 平成22年度 市民意識調査結果の概要

1 調査方法と回収結果

1 調査地区

大阪府岸和田市全域

2 調査対象

市内在住の15歳以上75歳未満の男女4,000人

3 抽出方法

岸和田市住民基本台帳及び外国人登録(平成22年8月1日現在)から無作為抽出。ただし、性別・年齢・居住校区に大きな隔たりが生じないように考慮

4 調査方法

アンケート用紙と返信用封筒を同封して郵送

5 調査期間

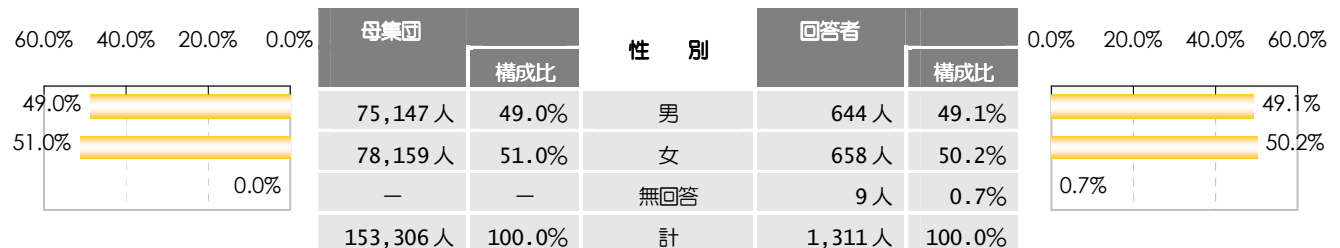
平成22年8月19日～9月3日

6 回収結果

抽出数	実送付数	有効回答数	有効回答率
4,000人	3,966人	1,311人	33.06%

※ 郵便返戻等の理由により、抽出数と実送付数との間に差があり。

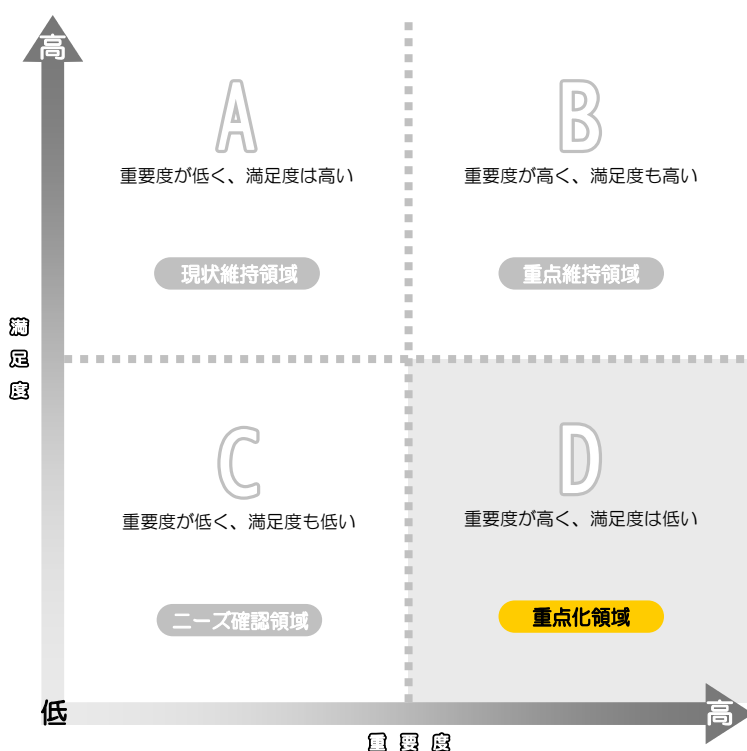
2 回答者の属性





3 『重要度×満足度』調査

市民が、市がこれまで取り組んできた施策に満足しているか（満足度）、また、今後、市がどのような施策に更に力を注いでいくべきであると感じているか（重要度）について、それぞれの平均点を 50 とした偏差値に換算した上で、「重要度」を横軸、「満足度」を縦軸にとり、それぞれの平均値（偏差値 50）を交点としたグラフにプロットし、その分布領域から市民ニーズと重点化すべき施策の傾向を読み取る分析手法



領域の説明	
◇ 領域 A	現状維持領域 満足度を維持しつつ、ニーズに見合った対応を検討すべき領域
◇ 領域 B	重点維持領域 今後も現在の成果を維持しつつ、改善を続けるべき領域
◇ 領域 C	ニーズ確認領域 相対的な満足度の低さは重要度の低さと関係していると思われ、市民ニーズの実態を確認すべき領域
◇ 領域 D	重点化領域 最優先で改善しなければならない重点化領域

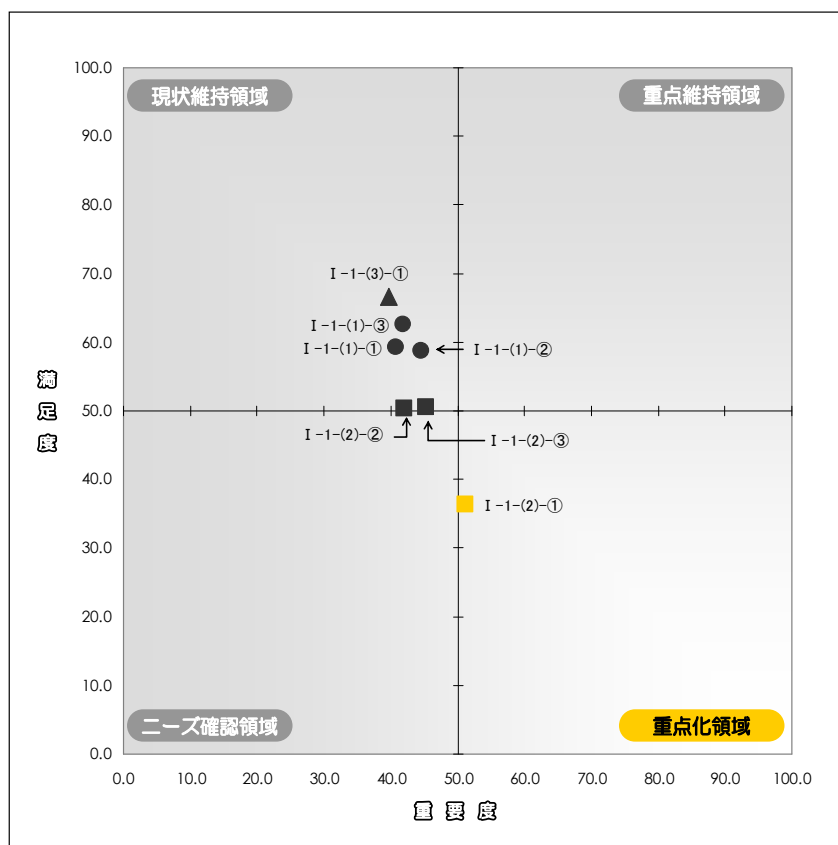
基本目標 I-1 生きがいを創造する

達成された姿	目指す成果	アンケートの項目
I-1-(1)【●】 生涯にわたって能力を伸ばすことができる	I-1-(1)-① 生涯学習に取り組む市民が増えている	多様な学習機会の提供
	I-1-(1)-② スポーツを楽しむ市民が増えている	スポーツを楽しむ環境の整備
	I-1-(1)-③ 多くの市民が豊かで創造性のある芸術・文化に親しんでいる	文化・芸術の振興
I-1-(2)【■】 誰もが活躍する場が増えている	I-1-(2)-① 市内で働く人がいきいきと働いている	良好な労働環境の整備
	I-1-(2)-② 障害者がいきいきと暮らしている	障害者の社会参加機会の拡充
	I-1-(2)-③ 高齢者がいきいきと暮らしている	高齢者の社会参加機会の拡充
I-1-(3)【▲】 郷土への愛着心が育まれている	I-1-(3)-① 郷土の文化がしっかりと引き継がれている	文化財の保護

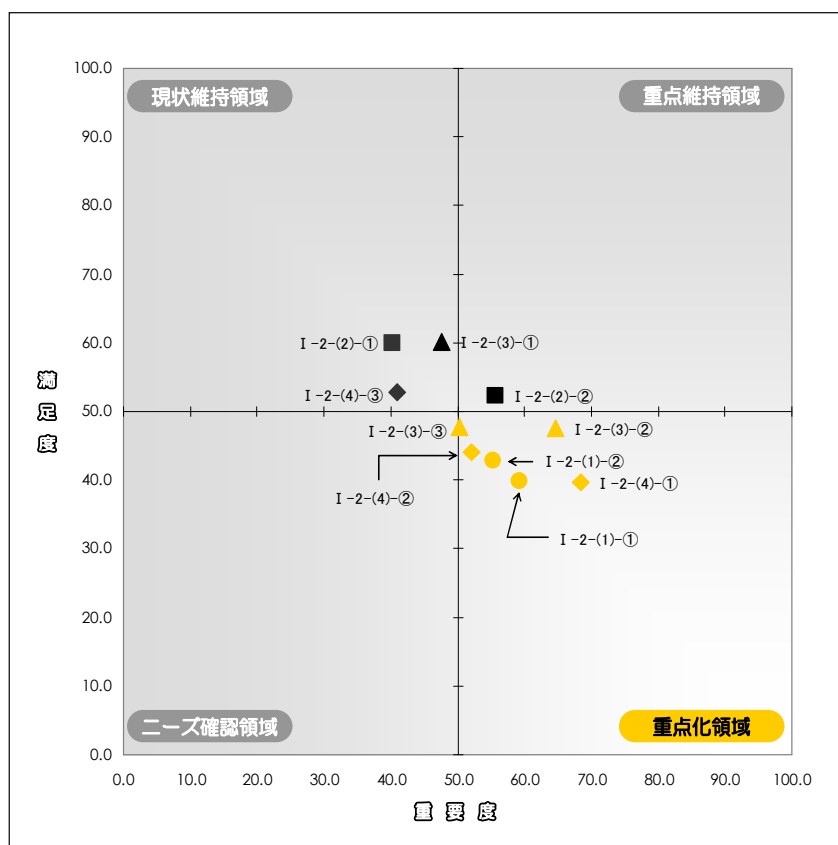
基本目標 I-2 次世代を育てる

達成された姿	目指す成果	アンケート項目
I-2-(1)【●】 安心して子どもを生み育てている	I-2-(1)-① 子どもを生み育てやすい環境が整っている	子育て家庭の不安や負担の軽減対策
	I-2-(1)-② 仕事と子育てが両立できている	保育の充実
I-2-(2)【■】 子どもの健康と安全が保たれている	I-2-(2)-① 子どもの心身の健康が保たれている	子どもの健康管理
	I-2-(2)-② 子どもの人権と安全な生活環境が保たれている	子どもの安全確保対策
I-2-(3)【▲】 子どもの個性や能力が育まれている	I-2-(3)-① 等しく教育を受ける機会が保障されている	子どもの適正な就園・就学の確保
	I-2-(3)-② 子どもが個性や能力にあった教育を受けている	学校教育の内容の充実
	I-2-(3)-③ 安全で快適な教室で児童・生徒が学習活動に取り組んでいる	学校環境の整備
I-2-(4)【◆】 岸和田の担い手が育っている	I-2-(4)-① 子どもが感受性や社会性を身につけている	子どもたちに人間性や社会性を身につけさせるための取組
	I-2-(4)-② 子どもたちが夢や目標をもって育っている	子どもの健全育成
	I-2-(4)-③ あらゆる分野での人材が育っている	高等教育の機会の提供

重要度	満足度	領域
40.7	59.2	現状維持
44.6	58.8	現状維持
41.9	62.6	現状維持
51.1	36.3	重点化
42.1	50.3	現状維持
45.2	50.6	現状維持
39.7	66.6	現状維持



重要度	満足度	領域
59.3	39.8	重点化
55.3	42.8	重点化
40.3	59.9	現状維持
55.7	52.3	重点維持
47.6	60.2	現状維持
64.6	47.5	重点化
50.3	47.8	重点化
68.4	39.7	重点化
52.1	44.1	重点化
40.9	52.8	現状維持



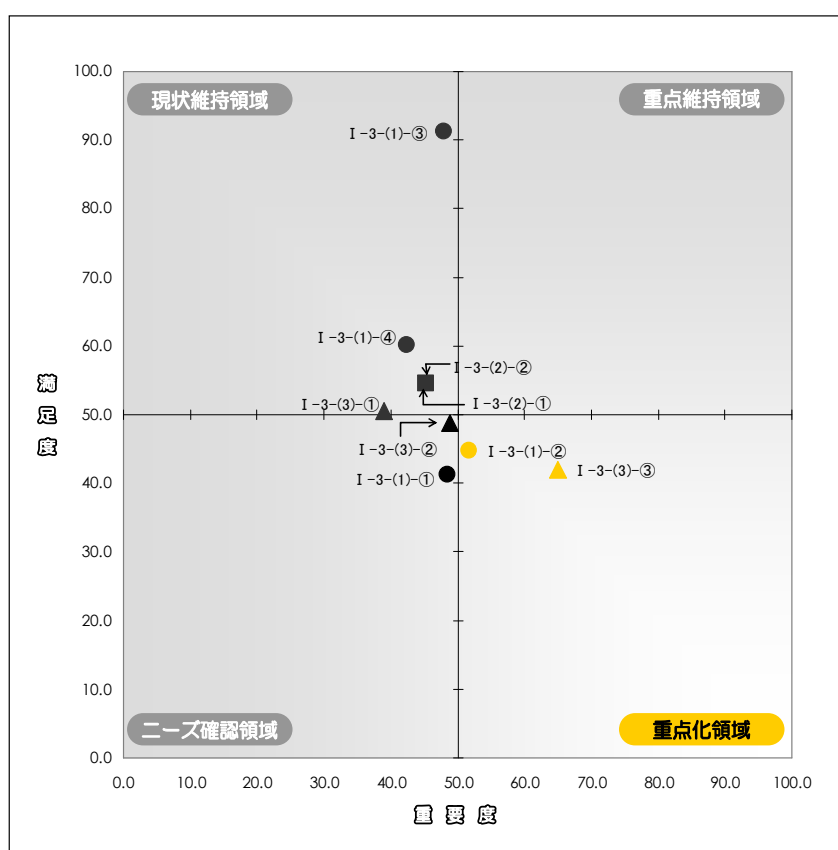
基本目標 I-3 暮らしの安全性・快適性を高める

達成された姿	目指す成果	アンケート項目
I-3-(1)【●】 健康的で快適な暮らしができて いる	I-3-(1)-① 生活を脅かす環境要因が改善されている	大気汚染や騒音などの環境汚染防 止対策
	I-3-(1)-② 衛生的で美しい生活環境が維持されている	まちの美化対策
	I-3-(1)-③ 安全でおいしい水が安定的に供給されている	安全で良質な水道水の供給
	I-3-(1)-④ 良好な住環境が維持・改善されている	快適な住環境の整備
I-3-(2)【■】 安全な食が生産され、身近に購 入できている	I-3-(2)-① 安全な食が生産されている	農業・漁業の振興
	I-3-(2)-② 地産物が地域で消費されている	地産地消の推進
I-3-(3)【▲】 不安なく日常生活を送っている	I-3-(3)-① 安心して消費生活を送ることができている	消費者保護対策
	I-3-(3)-② 交通事故の不安を感じることなく外出している	交通安全対策
	I-3-(3)-③ 犯罪の不安を感じることなく暮らしている	防犯対策

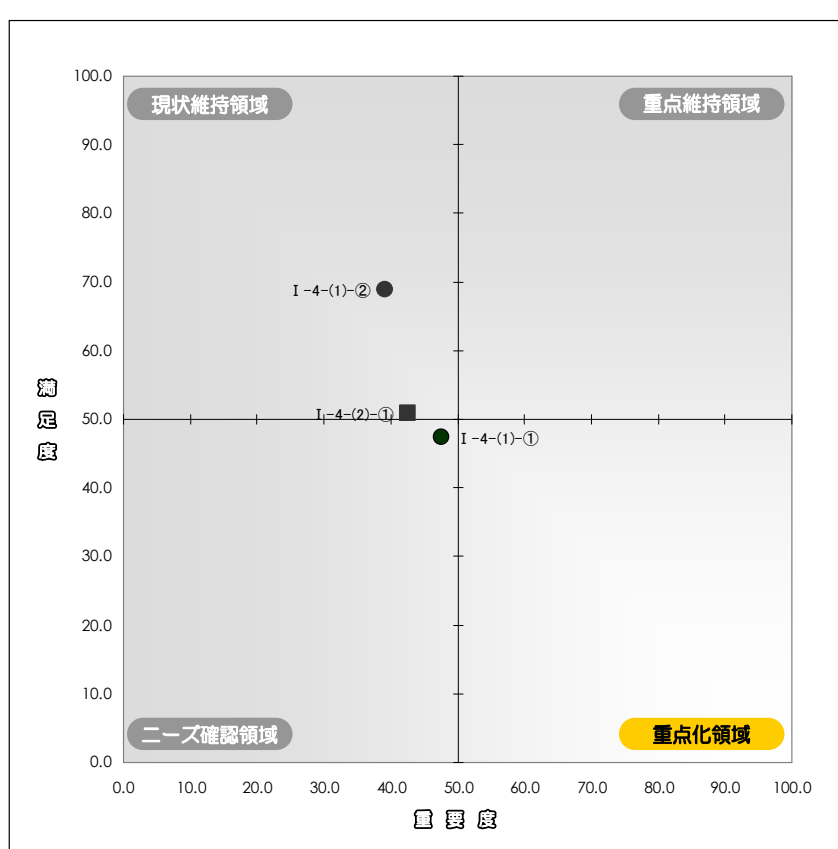
基本目標 I-4 人も街も災害に強くする

達成された姿	目指す成果	アンケート項目
I-4-(1)【●】 災害に対する備えと予防ができ ている	I-4-(1)-① 災害に対して強いまちになっている	災害を未然に防ぐための都市基盤 整備
	I-4-(1)-② 火事が減っている	消防機能の充実
I-4-(2)【■】 災害が起こったとき、迅速・的 確な対応ができている	I-4-(2)-① 災害に対する危機管理体制が整っている	危機管理対策の充実

重要度	満足度	領域
48.4	41.2	二一ズ確認
51.7	44.7	重点化
47.9	91.3	現状維持
42.4	60.2	現状維持
45.2	54.5	現状維持
45.3	54.6	現状維持
39.0	50.6	現状維持
48.8	48.7	二一ズ確認
65.0	41.9	重点化



重要度	満足度	領域
47.6	47.3	二一ズ確認
39.1	68.9	現状維持
42.6	50.8	現状維持



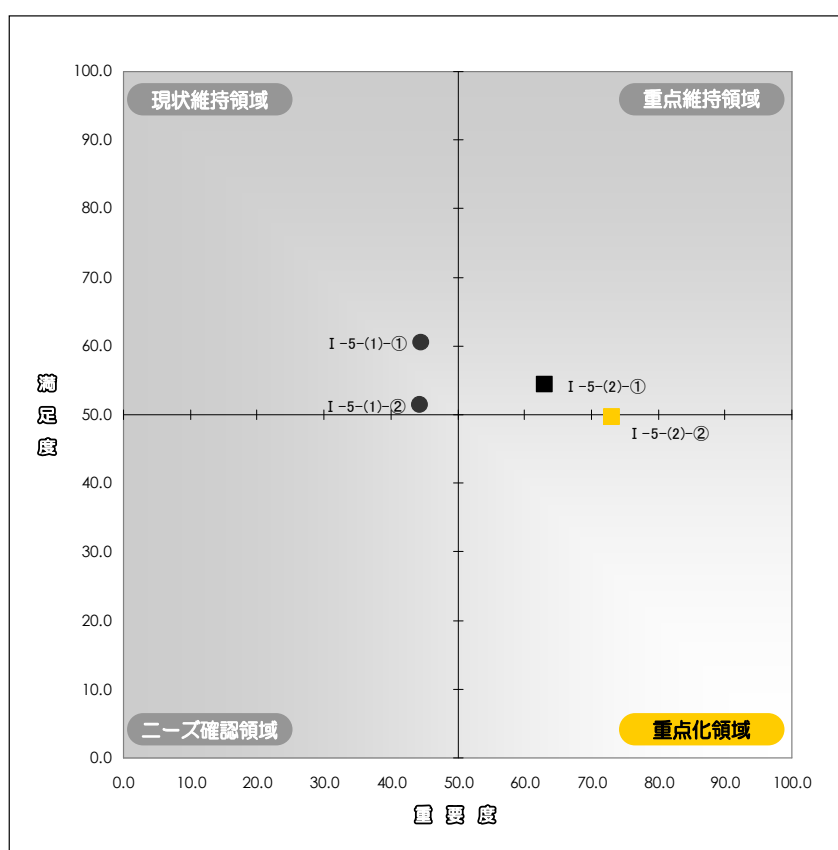
基本目標 I-5 健康を育み、地域医療を充実させる

達成された姿	目指す成果	アンケート項目
I-5-(1)【●】 一人ひとりの健康が維持・増進されている	I-5-(1)-① 市民一人ひとりが健康づくりに取り組んでいる	健康づくりへの支援
	I-5-(1)-② 心身の健康を維持するための体制が整っている	介護予防や心の健康管理
I-5-(2)【■】 誰もが、いつでも、安心して医療が受けられる	I-5-(2)-① 必要な医療が安心して受けられる	地域医療体制の充実
	I-5-(2)-② 市民病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている	市民病院の充実

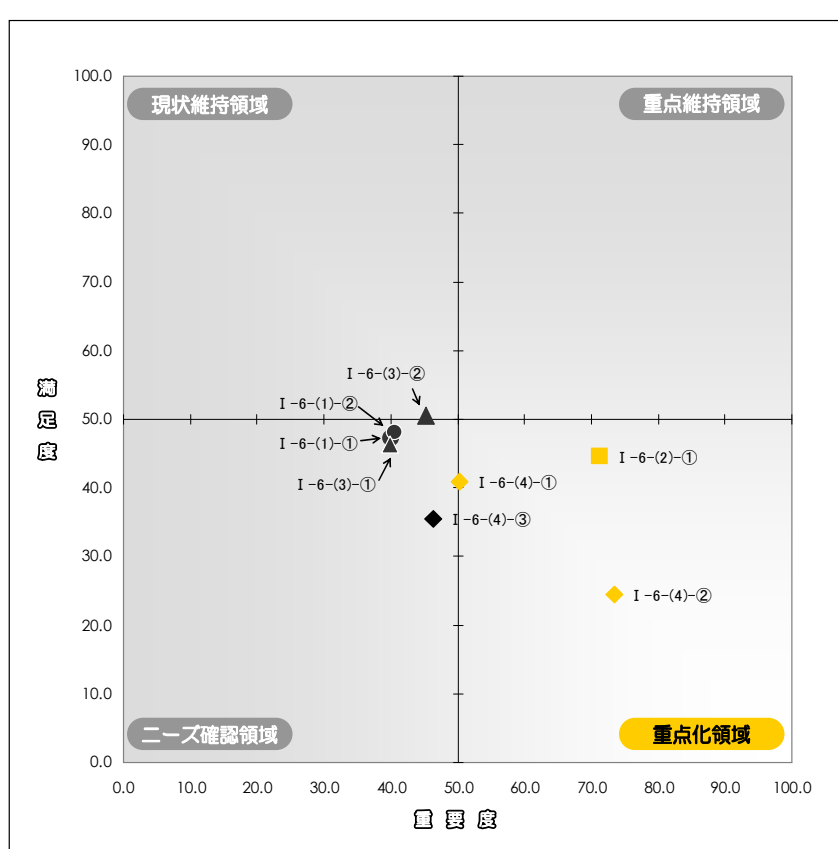
基本目標 I-6 海から山までをつなげ、新しい価値と活力を創出する

達成された姿	目指す成果	アンケート項目
I-6-(1)【●】 多彩な地域特性を活かした景観や拠点が形成されている	I-6-(1)-① 拠点の整備が計画的に進んでいる	地域の特性に応じた拠点整備
	I-6-(1)-② 良好な景観が形成されている	良好な景観の形成
I-6-(2)【■】 人や物が盛んに市内を行き交っている	I-6-(2)-① 市内の移動がスムーズにできている	道路・交通網の整備
I-6-(3)【▲】 1年中を通じて多くの人が岸和田を訪れ、市民と交流している	I-6-(3)-① 地域の中で多文化共生が行われている	国内・国際交流の推進
	I-6-(3)-② 市民が観光資源に親しみ、多くの観光客でにぎわっている	観光の振興
I-6-(4)【◆】 経済活動が活発に行われている	I-6-(4)-① 多様な資源を活かしあい、新たな取組をする事業者が増えている	商工業の振興
	I-6-(4)-② 市内に働く場所が増えている	雇用確保対策
	I-6-(4)-③ 身近に利用できる商業施設があり、にぎわっている	商店街等への支援

重要度	満足度	領域
44.5	60.5	現状維持
44.4	51.4	現状維持
63.1	54.3	重点維持
73.1	49.6	重点化



重要度	満足度	領域
40.1	47.2	二一確認
40.6	48.1	二一確認
71.2	44.6	重点化
39.8	46.3	二一確認
45.3	50.6	現状維持
50.2	40.9	重点化
73.5	24.5	重点化
46.4	35.5	二一確認



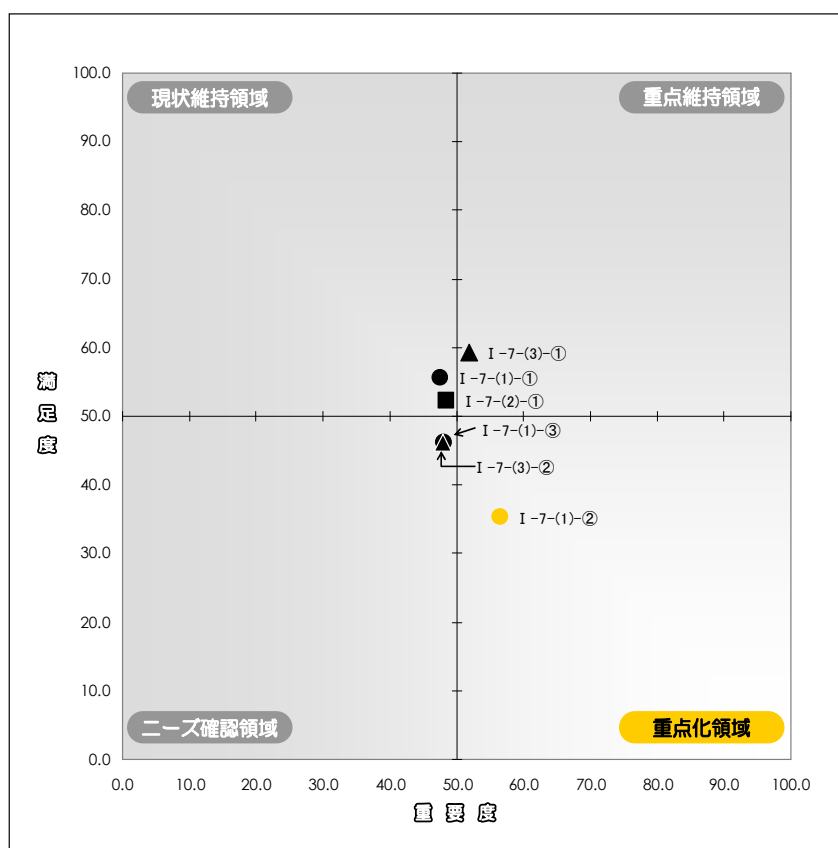
基本目標 I-7 豊かな自然を未来につなぐ

達成された姿	目指す成果	アンケート項目
I-7-(1) 【●】 海から山をつなぐ、水と緑のネットワークが機能している	I-7-(1)-① みどりが保全され、まちの緑化が進んでいる	森林などのみどり保全
	I-7-(1)-② 公共用水域の水質が向上している	海や川などの水質汚濁防止対策
	I-7-(1)-③ 自然景観が保全されている	自然環境の保全
I-7-(2) 【■】 心安らく場所が身近にある	I-7-(2)-① 公園を快適に利用している	公園の整備
I-7-(3) 【▲】 地球環境への負荷が減っている	I-7-(3)-① ごみの減量化・資源化が進んでいる	ごみの減量化とリサイクルの促進
	I-7-(3)-② 地球環境に配慮して行動している	省エネルギーや新エネルギーなどの地球温暖化防止対策

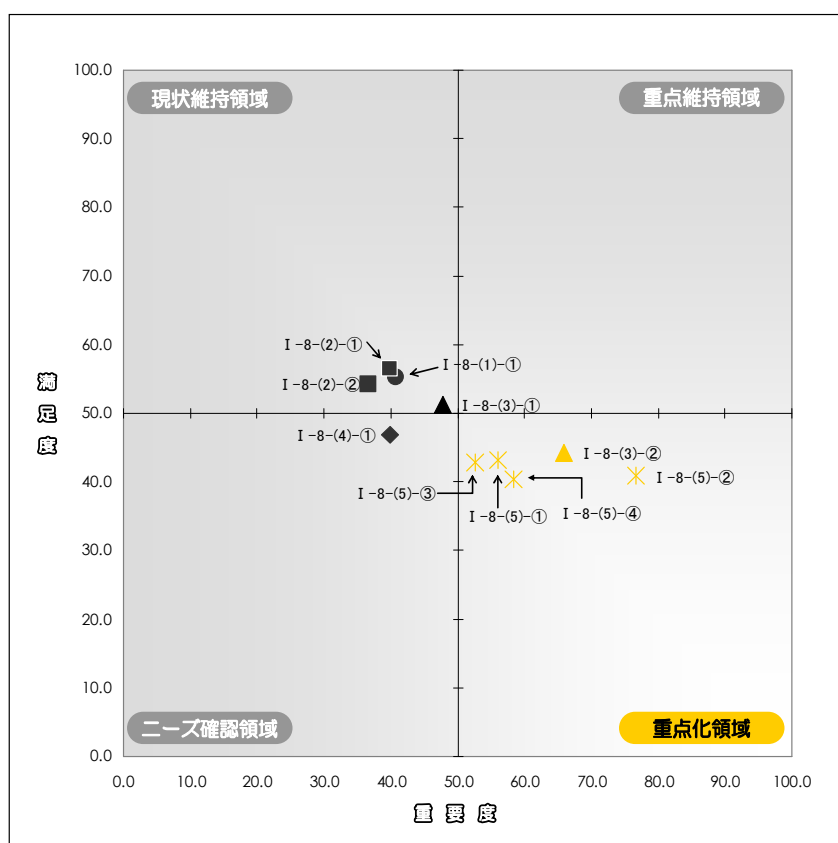
基本目標 I-8 みんながみんなを大事にし、見守る

達成された姿	目指す成果	アンケート項目
I-8-(1) 【●】 平和の尊さが実感できている	I-8-(1)-① 非核平和への市民の意識が高まっている	平和意識の高揚
I-8-(2) 【■】 互いの人権を尊重しあっている	I-8-(2)-① あらゆる差別がなく、すべての人が互いの人権を尊重しあっている	人権尊重意識の高揚
	I-8-(2)-② 男女共同参画が実感できている	男女共同参画意識の高揚
I-8-(3) 【▲】 ともに支えあう地域社会になっている	I-8-(3)-① お互いに助けあう地域の関係ができています	福祉の仕組みづくり
	I-8-(3)-② 相互扶助の精神に基づき、医療保険制度が適正に運営されている	国民健康保険や高齢者医療などの医療保険制度の充実
I-8-(4) 【◆】 高齢者・障害者が安心して活動している	I-8-(4)-① ユニバーサルデザイン化が進んでいる	まちのユニバーサルデザイン化の推進
I-8-(5) 【※】 誰もが必要な支援を受けることができる	I-8-(5)-① 必要な介護サービスの支援を受けられる	介護保険制度の充実
	I-8-(5)-② 高齢者が必要な支援を受け、安心して日常生活を送っている	高齢者の生活支援
	I-8-(5)-③ 障害者が必要な支援を受け、自立した生活を送っている	障害者の自立支援
	I-8-(5)-④ 生活困窮者などが必要な支援を受けている	生活困窮者や難病患者への支援

重要度	満足度	領域
47.6	55.6	現状維持
56.5	35.4	重点化
48.1	46.2	二一ス確認
48.4	52.3	現状維持
51.9	59.2	重点維持
48.0	46.1	二一ス確認



重要度	満足度	領域
40.7	55.2	現状維持
39.9	56.5	現状維持
36.7	54.2	現状維持
47.7	51.2	現状維持
65.9	44.3	重点化
39.9	46.8	二一ス確認
56.1	43.2	重点化
76.6	40.9	重点化
52.6	42.8	重点化
58.4	40.4	重点化



岸和田市まちづくりビジョン 第1期 戦略計画

平成23年3月

【発行】大阪府岸和田市

〒596-8510 岸和田市岸城町7番1号

電話（072）423-2121（代）

【編集】企画調整部政策企画課

